

TEKLYNX® LABEL MATRIX®

SETTING THE STANDARD



クイックスタートガイド

本マニュアルに記載の情報は法的拘束力を有せず、事前の通知なしに修正することができます。

本マニュアルに記載のソフトウェアの供給は、ユーザライセンスの取得を条件としています。本ソフトウェアは、係るライセンスに基づくことなしに利用、コピー、若しくはいかなる媒体にも複製することができません。

本マニュアルの一部たりとも、Teklynx Newco SAS からの書面による承認がある場合を除き、購入者の個人的使用以外の目的で、いずれの方法によるかを問わず、コピー、複製、若しくは送信することができません。

© 2012 Teklynx Newco SAS.

無断複写・複製・転載を禁ず

.TEKLYNX とその製品は Teklynx Newco SAS の商標あるいは登録商標です。それ以外のブランド名および製品名はそれらの各所有者が有する商標です。

改訂番号一 170812

目次

第一章：はじめに	1-1
プログラムの開始	1-1
新しいラベルの作成	1-2
既存ラベルの開き方	1-3
アプリケーションウィンドウの内容	1-4
メニューバー	1-4
スタンダードツールバー	1-5
イメージ追加用ツールバー	1-7
配置ツールバー	1-8
グループ/グループ解除ボタン	1-9
イメージフォーマットツールバー	1-9
エラー/警告ツールバー	1-9
ステータスバー	1-10
回転ボタン	1-10
アプリケーションオプションの設定	1-10
デザインウィンドウの設定	1-10
デザインウィンドウカラー	1-11
第二章：ラベル設定	2-1
プリンタ設定	2-1
ページサイズに関する配慮事項	2-1
マージンの設定	2-1
プリンタドライバ	2-2
プリンタの追加	2-2
感熱式プリンタ用ラベルの設定	2-6
Windowプリンタ用ラベルの設定	2-8
所定形式のラベル設定	2-10
カスタムラベル形式の保存	2-11
ラベル設定の編集	2-13
ページサイズの変更	2-14
マージンの変更	2-15
ページごとに複数ラベルを設定	2-16
ラベルコピー数の指定	2-17

選択プリンタの変更	2-18
現在アクティブなラベルに説明を与える方法	2-19
ラベル作成ファイルの保存	2-21
ラベル背景としてラベルフォーマットを保存	2-21
第三章：ラベルの作成	3-1
データオリジンの選択	3-1
データオリジンとは?.....	3-1
データオリジンの種類	3-2
フォントの選択	3-3
イメージ追加ウィザードの利用	3-4
ラベルへのイメージの追加	3-5
テキストの追加	3-5
パラグラフの追加	3-6
バーコードの追加.....	3-7
2次元バーコードの追加.....	3-8
ピクチャの追加	3-9
線と形状の追加	3-10
カスタム形状の追加.....	3-11
絵文字イメージの追加	3-12
リッチテキストフィールドイメージの追加	3-17
配置されたイメージの操作方法	3-19
イメージのハンドル.....	3-19
スナップ値の変更.....	3-19
イメージの移動	3-20
イメージの前後移動.....	3-20
イメージの回転	3-20
イメージのサイズ調整	3-21
イメージの拡大縮小.....	3-21
索引	I-1

はじめに



本章は、ユーザインタフェースの主な機能に馴染んで頂き、インタフェースを設定してラベルを作成印刷するために必要な準備をすることを目的としたものです。

プログラムの開始

- 1 Windows タスクバー上にある [スタート] ボタンをクリックして、[プログラム] にカーソルを合わせてください。
- 2 利用可能なプログラムのリストにあるラベル作成ソフトウェアを見つけ、それにカーソルを合わせてください。
- 3 リストにあるラベル作成ソフトウェアをクリックして起動してください。



ラベル作成ソフトウェアをはじめて起動するとき、メッセージボックスが表示され、デフォルトプリンタが見つからなかったことを知らせます。[OK] をクリックしてプリンタ追加ウィザードを開始し、あなたのデフォルトラベルプリンタを設定してください。ウィザードを使ったプリンタの追加に関する詳しい情報は、2 ページ目の 2 にある「プリンタの追加」に記載されているので参照してください。

新しいラベルの作成

ラベル作成ソフトウェアの新規ラベル作成ウィザードが、新しいラベルを作成するプロセスの全段階を追ってガイドします。



Figure 1-1 新規ラベル作成ウィザード

- ▶ **新規ラベル作成ウィザードにアクセスするには、下記に掲げる方法のうち一つを選択して実行してください。**
 - プログラムの開始画面から **[新しいラベルを作成]** のオプションを選択してください。
 - ファイルメニューにある **[新規作成]** をクリックしてください。
 - スタANDARDツールバーにある **[新規作成]** をクリックしてください。

ウィザードの指示にはじめから終わりまで従って新しいラベルを作成してください。ウィザードで表示される利用可能なラベルおよびプリンタ設定オプションに関する詳しい情報は、2 ページ目の 1 にある第 2 章ラベルの設定に記載されているので参照してください。

既存ラベルの開き方

▶ プログラム開始時のラベルの開き方

プログラムを開始するとき、開始画面には [**最近使用したラベルを開きます**] のオプションがあり、以前開かれたラベル作成ファイルのリストが表示されます。

- ラベルのパス名とファイル名がその画面に表示されると、それを選択し、[**OK**] をクリックして開くことができます。
- ラベル作成ファイルが画面上のリストにない場合、[**既存ラベルを開きます**] のオプションを選択し、ラベル作成ファイルがあるドライブ／フォルダをナビゲートした後、ダブルクリックして開いてください。
- また、**Windows** デスクトップ上に、ラベル作成ファイルへのショートカットを作り、そのアイコンをダブルクリックして開くこともできます。

▶ プログラム内からのラベルの開き方

- 1 **ファイルメニュー**にある [**開く**] をクリックしてください。また、**スタンダードツールバー**にある [**開く**] をクリックすることもできます。
- 2 ラベル作成ファイルがあるドライブ／フォルダをナビゲートし、それをダブルクリックして開いてください。



容易にアクセスできるよう、最近開かれたラベルが **4** つファイルメニューの下部近くにリストアップされます。ショートカットとして、これらのラベルファイルをこのメニューから選択して開くことができます。

アプリケーションウィンドウの内容

このセクションでは、ラベル作成ソフトウェアのアプリケーションウィンドウに表示される主なインタフェース構成要素の概略を説明します。

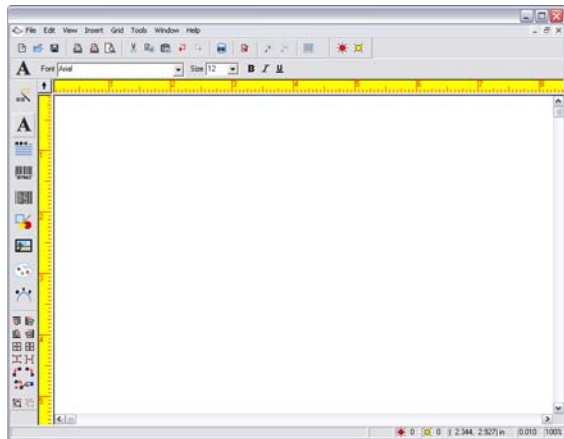


Figure 1-2 アプリケーションウィンドウ

メニューバー

メニューバーは、8 つのコマンドメニューで成り立っています。それらは、[ファイル]、[編集]、[表示]、[挿入]、[グリッド]、[ツール]、[ウィンドウ]、そして[ヘルプ]です。

Note

本ソフトウェアのトライアル版を使用の場合、メニューバーには [トライアル] メニューが追加されます。

▶ メニューバーの使用方法

- 1 マウスを使い、メニュー名をクリックするとコマンドのリストが表示されます。
- 2 所望のコマンドをクリックしてください。

スタンダードツール
バー

スタンダードツールバーには、ラベルを開いて保存および印刷を行い、その他のラベル作成表示および設定機能をコントロールするために利用される様々なツールボタンがあります。スタンダードツールバー機能の多くは、**ファイル**または**編集**メニューからもアクセスできます。

ボタン	ツール名	機能
	新規作成	新規ラベル作成ウィザードを起動し、新しいラベルのデザインを作成します。
	開く	既存ラベル作成ファイルを開きます。
	保存	現在アクティブなラベルデザインの変更箇所を保存します。
	印刷	ダイアログボックスを表示し、プリントの範囲を選択して現在アクティブなラベルデザインを印刷できるようにします。
	サンプルを印刷	現在アクティブなラベルデザインのサンプルラベルを 1 枚あるいは 1 ページ分印刷します。
	印刷プレビュー	現在アクティブなラベルデザインの印刷イメージを画面に表示します。
	切り取り	デザイン領域から選択したイメージを削除し、クリップボードに入れます。
	コピー	選択したイメージをクリップボードにコピーします。
	貼り付け	(前述の切り取りまたはコピーをした後) 現在クリップボードにあるイメージをラベルに貼り付けます。
	元に戻す	保存されていないラベルデザイン変更箇所を取り消して元に戻します。

ボタン	ツール名	機能
	やり直し	元に戻す コマンドで取り消した操作を再実行して最後の変更箇所を元に戻します。
	データベースモジュール	内部データベース編集ユーティリティを開始します。
	ラベルプロパティ	ラベルプロパティタブを表示します。
	ズームイン	現在アクティブなラベルデザインを拡大して、拡大イメージを表示します。
	ズームアウト	現在アクティブなラベルデザインを縮小し、デザインウィンドウにあるラベルの大部分を表示します。
	データグリッド	選択したデータベースファイル記録のスクロールリストを表示します。

イメージ追加用ツールバー イメージ追加用ツールバーを通し、テキスト、バーコード、ピクチャ、その他のイメージをあなたのラベルデザインに追加することができます。イメージ追加用ツールバーは、[**挿入**] メニューからアクセスすることも可能です。

ボタン	ツール名	機能
	イメージ追加用ウィザード	イメージ追加用ウィザードを開始し、イメージをラベルに追加するプロセスの段階を追ってガイドします。
	テキストを追加	テキストイメージを追加します。
	パラグラフを追加	パラグラフイメージを追加します。

ボタン	ツール名	機能
	バーコードを追加	1次元バーコードのイメージを追加します。
	2次元バーコードを追加	2次元バーコードのイメージを追加します（本プログラムのエディションにはこの機能が利用できないものもあります）。
	形状を追加	線、形状、カスタム形状イメージを追加します。
	ピクチャを追加	ピクチャイメージを追加します。
	絵文字を追加	絵文字イメージを追加します（本プログラムのエディションにはこの機能が利用できないものもあります）。
	リッチテキストフィールドを追加	リッチテキストフィールドのイメージを追加します（本プログラムのエディションにはこの機能が利用できないものもあります）。

配置ツールバー

配置ツールバーを通し、素早くイメージの配置を変更することができます。アライメントツールバーボタンを起動するには、はじめにイメージを選択してください。

ボタン	ツール名	機能
	上揃え	選択したイメージを最上部にある選択したイメージの上端に合せます。
	左揃え	選択したイメージを最左部にある選択したイメージの左端に合せます。
	下揃え	選択したイメージを最下部にある選択したイメージの下端に合せます。
	右揃え	選択したイメージを最右部にある選択したイメージの右端に合せます。
	垂直方向中央揃え	選択したイメージを垂直方向に中央へ揃えます。
	水平方向中央揃え	選択したイメージを水平方向に中央へ揃えます。
	垂直方向の配置	選択したイメージを垂直方向に均等に配置します。
	水平方向の配置	選択したイメージを水平方向に均等に配置します。
	左回りに回転	選択したイメージを左回りに90度回転させます。
	右回りに回転	選択したイメージを右回りに90度回転させます。
	アドバンス配置	以外の様々な配置オプションが選択できます

グループ／グループ解除ボタン

2 つ以上のイメージをグループにして単一のオブジェクトとして扱うことにより、編集時に時間と労力を節約することができます。例えば、各イメージをクリックしてそれぞれ別個に回転させるかわりに、すべてのイメージをグループにして単一のユニットとして回転させることができます。



Figure 1-3 グループ／グループ解除ボタン

イメージフォーマットツールバー

イメージフォーマットツールバーを通し、ラベルデザインにすでに追加したイメージを素早くフォーマットすることができます。このツールバーで利用可能なオプションは、現在選択されているイメージの種類により異なります。イメージが全く選択されていない場合、イメージフォーマットツールバーは、ラベル作成用に指定されたプリンタ、並びに**プリンタ設定**ダイアログボックスに導くボタンを表示します。

以下の図は、テキストイメージが選択されたときにイメージフォーマットツールバーで利用可能なオプションの例を示すものです。



Figure 1-4 イメージフォーマットツールバー

エラー／警告ツールバー

エラー／警告ツールバーは、エラーがあるイメージの横にエラー（赤色）あるいは警告（黄色）灯を表示することにより、あなたのデザインに潜在的に存在する問題を指摘します。デザインウィンドウにエラー／警告灯を表示するには、[**エラーを表示**] と [**警告を表示**] ボタンがオンになっていなければなりません。

ボタン	ツール名	機能
	エラーを表示	エラーがあるイメージの横に赤色ライトを表示します。
	警告を表示	警告があるイメージの横に黄色ライトを表示します。

ステータスバー

ステータスバーは、デザインウィンドウの下にあります。ステータスバーの左部は、メッセージ領域として機能し、カーソルの位置またはアクションに従って継続的にアップデートします。表示される他のインフォメーションステータスインジケータは、左から右に説明すると、データグリッド・ソート／フィルタ・ステータスアイコン、エラー／警告インジケータ（エラーと警告の総数を表示）、カーソルの現在位置、スナップ値の設定および拡大縮小比などです。



Figure 1-5 ステータスバー

回転ボタン

回転ボタンは、ルーラーが二つ交錯するデザイン領域の左上隅にあります。横向きに印刷するラベルを作成するとき、**回転**ボタンを利用してラベル表示を回転させると、通常の表示でより簡単にラベルをデザインすることができます。印刷の向きに応じて表示を 0、90、180、あるいは 270 度に回転させることができます。これはラベル表示のみに関係するもので、印刷には影響を与えません。

アプリケーションオプションの設定

アプリケーションオプションダイアログボックスを利用することにより、ラベル作成ソフトウェア環境の多くの機能をカスタマイズすることができます。

▶ アプリケーションオプションダイアログボックスへのアクセス：

- ツールメニュー上の [設定] をクリックしてください。

デザインウィンドウ設定

[設定表示] タブを通し、デザインウィンドウの様々な構成要素（ルーラーマーキング、ラベル作成グリッドの表示など）の表示方法を設定することができます。

▶ デザインウィンドウ設定の変更：

- 1 ツールメニュー上の [設定] をクリックしてください。

[アプリケーションオプション] タブが表示されます。

- 2 [設定表示] タブをクリックしてください。

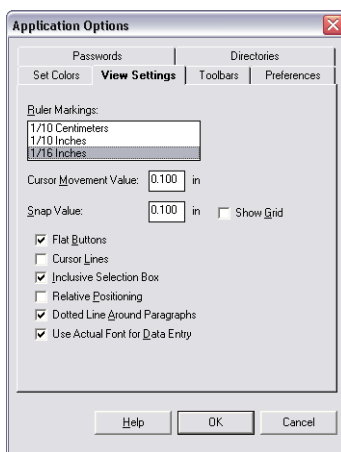


Figure 1-6 「設定表示」タブ

- 3 「設定表示」タブ上のオプションを変更して所望の選択項目を選択し、あなたのラベル作成環境をカスタマイズしてください。

デザインウィンドウカラー [カラー設定] タブ上のオプションを利用することにより、デザインウィンドウ領域および他のデザイン構成要素で使われる色を設定することができます。このカラー選択は、個人の好みに応じてアプリケーションウィンドウカラーをカスタマイズするためのものです。

▶ **デザインウィンドウカラーを変更：**

- 1 ツールメニュー上の [設定] をクリックしてください。

[アプリケーションオプション] タブが表示されます。

- 2 [カラー設定] タブをクリックしてください。

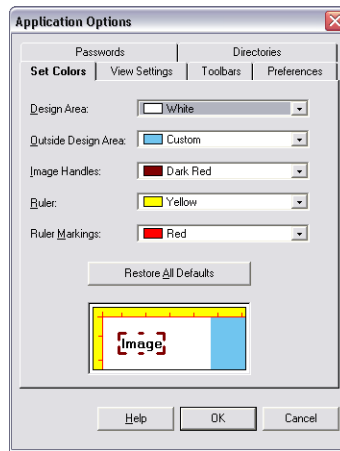


Figure 1-7 [カラー設定] タブ

- 3 [カラー設定] タブ上のカラー設定を変更して所望の選択項目を選択し、あなたのラベル作成環境をカスタマイズしてください。

ラベル設定



新しいラベルフォーマットを作成するには、ページまたはラベルサイズ、マージン、1 ページごとのラベル数などのラベルプロパティおよび、ラベルを印刷するメディアのサイズおよび種類を設定する必要があります。

しかし、これらのプロパティを設定する前にまず、印刷に使用するプリンタを特定しなければなりません。選択したプリンタのモデルにより、利用可能なオプション、およびラベルサイズ、フォントの種類が異なります。それは、プリンタにより機能が違うからです。

プリンタの設定

ページサイズに関する配慮事項 ページサイズは、使用のプリンタおよび印刷メディア（紙やラベル）により異なります。

- 感熱式プリンタで印刷する場合、ページサイズはラベルの縦と横の大きさを意味します。
- レーザ、インクジェット、あるいはドットマトリクスプリンタで印刷する場合、ページサイズはページの縦と横の大きさを意味します。

マージンの設定

マージンの設定もまた、使用のプリンタの種類により異なります。

- 感熱式プリンタで印刷する場合、通常、すべてのマージン設定において0を入力し、1 ページにつきラベルを1 枚印刷します。ラベル間に隙間があると、本ソフトウェアはラベルの大きさに応じて隙間を計算します。
- レーザ、インクジェット、あるいはドットマトリクスプリンタで印刷する場合、マージンは、ページの端と、ページの四隅すべてにあるラベルの端との距離に基づいて設定されます。

プリンタドライバ

本ラベル作成ソフトウェアの **PowerPro** 版には、様々なプリンタメーカーが製造する感熱式／熱転写プリンタ用のプリンタドライバがあります。これらのプリンタドライバは、プログラムをインストールするとき、使用のコンピュータに取り込まれます。

このプログラムと共にインストールされるプリントドライバは、プリンタのレジデントフォントへのアクセスを与えてラベルプリンタの性能を最大限に生かすことを可能にし、利用可能なメモリを最も有効的に使用できるので、印刷時のスピードが大幅に改善されます。

使用するプリンタにより、本ソフトウェアに利用するドライバの種類を変えることができます。プリンタドライバの種類は、ラベル作成ソフトウェアに以下のように指定されています。

- **(L)** ネイティブドライバー特に本ラベル作成ソフトウェア用として開発されたネイティブソフトウェアドライバです。
- **(X)** 拡張ドライバー何百種にも及ぶその他のプリンタに対応できる拡張ドライバのセットです。
- **(W)** **Windows ドライバー** Windows コントロールパネルを通してインストールする **Windows** のドライバです。

同一のプリンタモデル用としてネイティブドライバと拡張ドライバの両方を有するプリンタもあります。使用のプリンタモデルに利用可能なすべてのドライバを試し、使用のラベル印刷にとってどれが最適か判断することができます。



Windows プリンタを使用のデフォルトラベルプリンタとして設定するにはまず、**Windows** コントロールパネルを使ってそのプリンタドライバを追加する必要があります。

プリンタの追加

▶ プリンタ追加用ウィザードを使ったプリンタの追加方法

- 1 **ファイルメニュー**上の **[プリンタ設定]** をクリックしてください。
- 2 **[追加]** をクリックしてください。

プリンタ追加用ウィザードが表示されます。

- 3 ウィザードの初めの画面にある情報をすべて読んだ後、**[次へ]** をクリックして指示に従いながら続けてください。

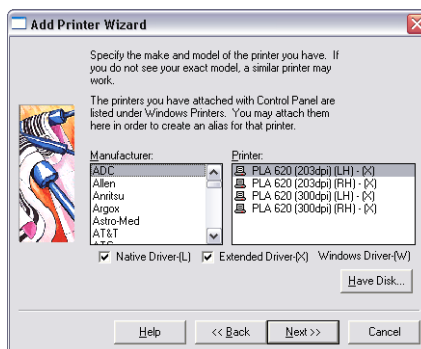


Figure 2-1 プリンタ型式とモデルの選択

メーカー／プリンタの画面上に、プリンタのインストールステータスが、以下に示すいずれかのアイコンによって表示されます。



ドライバはシステムにインストールされ、本ラベル作成ソフトウェアに使用することができます。



ドライバは本ラベル作成ソフトウェアに対応しますが、現在インストールされていません。(ほとんどの場合、ドライバは、ドライバサービスバックユーティリティを使って無料でウェブサイトからダウンロードすることができます。)

利用可能なプリンタのリストに、使用のプリンタメーカーとモデルが見つからない場合、以下に掲げるいくつかの対処法を考慮してください。

- 使用のプリンタは、本ラベル作成ソフトウェアと共に提供されていない **Windows** プリントドライバを使用している可能性があります。その場合、**Windows** コントロールパネルからドライバをインストールしてください。
- 使用のプリンタはリストに掲載されたあるプリンタと同じであるかもしれませんが、異なる名前である可能性があります。使用のプリンタメーカーに連絡し、ドライバとの互換性を有する代替りのプリンタがどれであるかアドバイスを受けることができるかもしれません。
- 既存のドライバがエミュレーションを通して使用のプリンタをサポートしている可能性があります。使用のプリンタメーカーが、ドライバが使用のプリンタをエミュレートしているかどうか判断することができます。

Note

[ディスクを使用] ボタンにより、ディスクまたは CD からプリンタドライバをインストールすることができます。

- 4 使用したいメーカーおよびプリンタを選択し、**[次へ]** をクリックしてください。

エイリアスおよびポート選択の画面が表示されます。

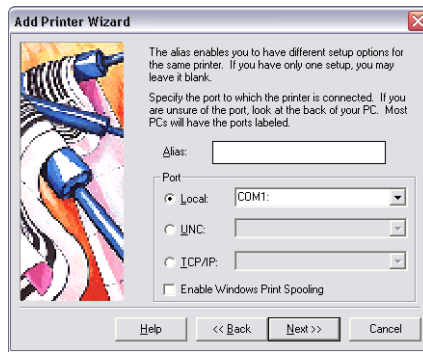


Figure 2-2 エイリアスとポートの指定

- 5 エイリアスボックスで、プリンタの名前をタイプしてください。たとえば、「**ウェアハウスプリンタ 1**」あるいは「**配送ラベル形式ー HP4**」などです。この名前は、**プリンタ設定**ダイアログボックスにあるプリンタのリストに表示されます。
- 6 使用のプリンタが物理的に接続されているポートを指定してください。
 - **ローカル**：ローカルポートを選択してください。通常、感熱式プリンタは **COM1**、**COM2** などのシリアル（COM ポート）接続を使用します。レーザおよびドットマトリクスプリンタは、通常、**LPT1** などのパラレルポート（LPT）接続、あるいは **USB001** などの **USB** ポートを使用します。
 - **UNC**：完全な **UNC** パスを入力し、共有ネットワークプリンタを使用して印刷してください。
 - **TCP/IP**：IP アドレスを入力し、共有された Telnet 接続を使用して印刷してください。

Note

正しく機能するには、多くのシリアルプリンタが、ヌルモデムケーブルまたはスタンダード RS232 ケーブル上のヌルモデムアダプタへ物理的に接続されている必要があります。

ローカルポート（例：COM1、LPT1、あるいは USB001）へ印刷する場合、**[Windows プリントスプーリングを有効にする]** オプションを選択することができます。

- 7 プリントスプールによって印刷ジョブを Windows プリントスプーラに送ることができ、プリントスプーラはプリンタの準備ができるまで各印刷ジョブを格納します。プリントスプールを利用することの利点は、直接印刷プロセスに拘束されないので各印刷ジョブの直後もっとはやくラベル作成ソフトウェアが使用できることです。
- 8 **[次へ]** をクリックしてください。
- 9 COM ポートを選択すると、COM ポート設定画面が表示されます。

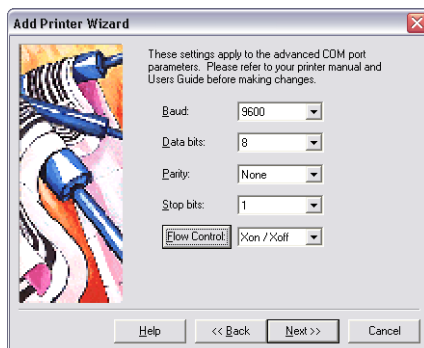


Figure 2-3 COM ポートの設定

使用のプリンタマニュアル仕様書に従って、必要なら COM ポート設定を調整してください。本書で定められた COM ポート設定は、使用のプリンタの設定と合致していなければなりません。

使用のプリンタが Windows によって提供されるドライバを使用している場合、Windows コントロールパネルを使って接続情報を変更するよう指示されることがあります。

- 10 [次へ] をクリックしてください。
- 11 ウィザードを閉じた後プリンタ設定を表示するには、[**プリンタ
セットアップオプションを変更します**] のチェックボックスを選択してください。
- 12 [**終了**] をクリックしてください

感熱式プリンタ用ラベルの設定

以下の各ステップは、新規ラベル作成用ウィザードを使い、ファンにより送り込まれて打ち抜かれた連続ロールのまたはダイカット式ラベルストック上にラベルを印刷する感熱式または熱転写プリンタ用のラベルを作成するものです。感熱式プリンタで印刷する場合、ページサイズのプロパティが、ページのサイズではなく、ラベル1枚のサイズを実際に決定します（Windows プリンタの場合はページのサイズです）。

▶ 感熱式プリンタ印刷用ラベルの設定

1 ファイルメニューの [新規作成] をクリックしてください。

新規ラベル作成ウィザードが現われ、現在使われているデフォルトプリンタの名前を表示します。

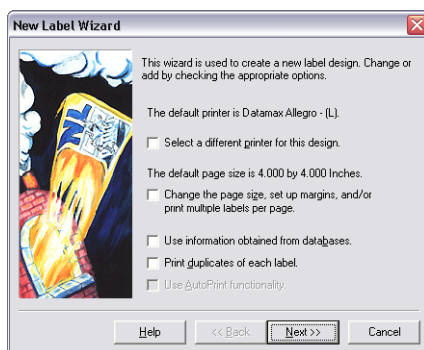


Figure 2-4 新規ラベル作成ウィザード

2 以下のチェックボックスを選択してください

- このデザイン用に異なるプリンタを選択する。
- ページサイズを変更し、余白を設定し、そして／または1ページごとの複数ラベルを印刷する。

Note

ラベル設定時に現われるウィザードの画面は、新規ラベル作成ウィザードのはじめの画面においてあなたが選択するオプションによって異なります。感熱式プリンタ用ラベルの設定が目的ですので、ここではプリンタとページサイズのオプションだけを選択することになります。

- 3 [次へ] をクリックしてください。
- 4 ドロップダウンリストから感熱式または熱転写プリンタを選択してください。

使用のプリントがリストにない場合、プリンタ追加用ウィザードを使って [追加] をクリックし、プリンタドライバをインストールしてください。

- 5 [このプリンタを新規「デフォルトプリンタ」にする] をクリックして、「次へ」をクリックしてください。



あなたが使用する予定のプリンタドライバが Windows プリンタフォルダにある場合、それは本プログラムと共にインストールされたドライバではありません。本ラベル作成ソフトウェアを使用してラベルを最適に作成印刷するには、本プログラムと共にインストールされたプリンタドライバの 1 つを使いください。

- 6 連続またはダイカット式ラベルストック] をクリックした後、[次へ] をクリックしてください。
- 7 ページ幅とページの高さのボックスに、ラベルのサイズを入力してください（例：4.0 ならびに 6.0）

左側にあるページ表示が、入力される数値に応じて変化します。

- 8 [次へ] をクリックしてください。
- 9 必要に応じ、ラベルの内容をタイプしてください。
- 10 [終了] をクリックしてください。

新しいラベルがデザインウィンドウに表示されます。

プリンタ用ラベルの設定

下記の各ステップは、新規ラベル作成用ウィザードを使用してレーザ、インクジェット、あるいはドットマトリクスプリンタ用のラベルを作成するものです。これらの種類のプリンタは、**Windows** コントロールパネルを使用してインストールしなければなりません。

▶ Windows プリンタ印刷用ラベルの設定

- 1 ファイルメニューにある **新規作成** をクリックしてください。

新規ラベル作成用ウィザードが表示されます

- 2 以下のチェックボックスを選択してください。

- このデザイン用に異なるプリンタを選択する。
- ページサイズを変更し、余白を設定、そして／または1ページごとの複数ラベルを印刷する

Note

ラベル設定時に現われるウィザードの画面は、新規ラベル作成ウィザードのはじめの画面であなたが選択するオプションによって異なります。**Windows** プリンタ用のラベルを設定することが目的なので、ここではプリンタとページサイズのオプションのみ選択することになります。

- 3 **次へ** をクリックする。

- 4 ドロップダウンメニューからレーザ、インクジェット、またはドットマトリクスプリンタを選択する。

使用のプリントがリストにない場合、**Windows** コントロールパネルを使ってプリントを追加してください。

- 5 **このプリンタを新規「デフォルトプリンタ」にする** をクリックし、**次へ** をクリックする。

- 6 **各ページにつきラベル 1 枚の単一シート** をクリックし、**次へ** をクリックする。



本プログラムには、住所用ラベル、名札、ファイルフォルダ用ラベルなど多くの共通ラベル形式をもった所定のラベル形式があります。詳細については、2 ページ目の 10 にある「所定形式のラベル設定」を確認して下さい。

- 7 希望のページサイズ（通常、ラベル用シートでは 8.5 x 11 インチ）を入力し、「**次へ**」をクリックしてください。



Windows プリンタで印刷する場合、Windows コントロールパネルで定義したページサイズプロパティが、本ラベル作成ソフトウェアで指定したラベルサイズとマージンの設定に優先します。

- 8 適切なマージン設定（例：0.500）を入力し、「**次へ**」をクリックしてください。

レーザプリンタの多くは、ページ上の 4 つのすべての端に 0.25 インチ分印刷できない部分があります。マージンをそれ以下に設定すると、警告が出る可能性があります。

- 9 **ラベル横向き**および**ラベル縦向き**のボックスに、ラベルシート 1 枚上にラベルを配列するときの横のラベル数と縦のラベル数に合致する適切な数値を入力してください。

たとえば、住所用ラベルのシート 1 枚には、横にラベルが 2 つ、縦にラベルが 10 あるかもしれません。それらの数値を**ラベル横向き**および**ラベル縦向き**の設定に入力することになります。

- 10 ラベル 1 枚のサイズを測定し、それらの数値を「**ラベル幅**」および「**ラベルの高さ**」ボックスに入力してください。（注：これらはラベル 1 枚のみの寸法であり、1 頁の寸法ではありません。）

左側にあるページ表示は、入力する数値に応じてページの大きさが変化します。

Note

本プログラムは、ページサイズ、マージン、各ラベルサイズに基づいてラベル間の隙間を計算します。

- 11 「**次へ**」をクリックしてください。

- 12 必要であれば、ラベルの内容をタイプしてください。

- 13 「**終了**」をクリックしてください。

新規ラベルがデザインウィンドウに表示されます。

- 14** ファイルメニュー上の「**サンプル印刷**」をクリックしてください。ラベルがラベルシート上に正しく配置されていない場合、必要に応じてマージン設定を調節してください。

所定形式のラベル設定

本ラベル作成ソフトウェアに含まれている所定ラベル形式を使ってラベルを作成することができます。本プログラムには、ID バッジから配送用ラベル、在庫用棚札に至るまで、数多くの異なるラベル形式（「テンプレート」とも呼ばれています）があります。

ラベルフォームを選択する際、選択するフォームに基づいて、ページサイズ、マージン、ラベルサイズ、1 ページごとのラベル数の設定が自動的に入力されます。

▶ フォームに基づくラベルシートを設定

- 1 ファイルメニュー上の「**新規作成**」をクリックしてください。新規ラベル作成用ウィザードが表示されます。
- 2 デフォルトプリンタが **Windows** プリンタ（レーザ、インクジェット、ドットマトリクスなど）であることを確認してください。そうでない場合、チェックボックスで異なるプリンタを選択してください。
- 3 「**ページサイズを変更し、余白を設定し、そして／またはページごとに複数ラベルを印刷する**」チェックボックスをチェックし、「**次に**」をクリックしてください。
- 4 プリンタ選択の画面が現われたら、**Windows** プリンタをデフォルトとして選択し、「**次に**」をクリックしてください。

すると、メディアを選択する画面が表示されます。

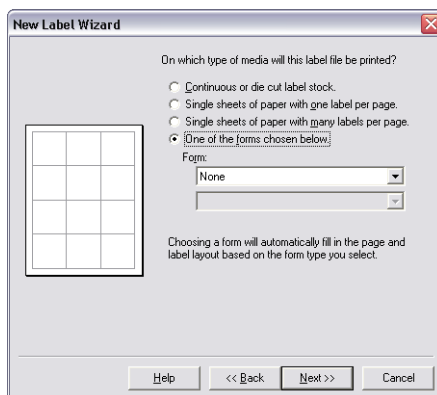


Figure 2-5 ラベルを印刷するメディアの種類を選択

- 5 「下に選択したフォームを 1 つ」をクリックしてください。
- 6 最上部にある**フォーム**ドロップダウンリストをクリックして所望のラベルフォームメーカーを選択した後、最下部に位置するドロップダウンリストをクリックして所望のラベル形式を選択してください。

探しているフォームの種類と一致する数字を知らない場合、リストにあるいずれかのラベルフォームをクリックすると、そのラベルレイアウトのプレビューがサンプル領域に表示されます。



フォームドロップダウンリストは、[ラベルプロパティ ページサイズ] タブ、[マージン] タブ、あるいは[マルチ] タブからもアクセスすることができます。[ラベルプロパティ] タブにアクセスするには、**ファイル**メニューから [ラベルプロパティ] を選択してください。

- 7 [次へ] をクリックしてください。
- 8 その後も [次へ] をクリックし続け、ページサイズ、マージン、1 ページごとのラベルサイズのデフォルト設定を承諾してください。
- 9 [終了] をクリックしてください。

選択したラベル形式がデザインウィンドウに表示されます。

カスタムラベル形式の保存

頻繁に使用予定の新規ラベル形式を作成する場合、設定をカスタムフォームとして名付けて保存し、のちほど再び呼び出して利用することができます。

▶ カスタムラベル形式の保存

- 1 ファイルメニュー上の「ラベルプロパティ」をクリックしてください。
- 2 必要であれば、のちほど使用するためにフォームとして保存したいラベル形式のプロパティを変更してください。
- 3 [ページサイズ] タブをクリックしてください。([マージン] タブあるいは [マルチ] タブで同じ操作をすることもできます。)

- 4 [名前を付けて保存] をクリックしてください。

[名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。

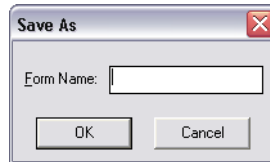


Figure 2-6 カスタムフォームの保存

- 5 [フォーム名] ボックスに、フォームの名前をタイプして [OK] をクリックしてください。

次回新規ラベルを作成するとき、[フォーム] ドロップダウンリストから新規カスタムフォームを選択して利用することができます。

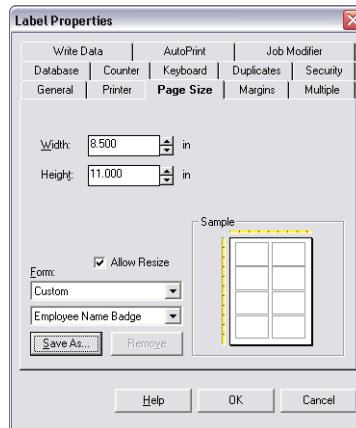


Figure 2-7 選択可能な新規フォーム

ラベル設定の編集

新規ラベル作成ウィザードを使って指定したラベル設定のすべては、**「ラベルプロパティ」** ダイアログボックスのタブを使っていつでも変更することができます。

「ラベルプロパティ」 ダイアログボックスにアクセスするには以下のよういくつかの方法があります。

- **「ファイル」** メニュー上の **「ラベルプロパティ」** をクリックする。
- スタANDARDツールバー上の **「ラベルプロパティ」** ボタンをクリックする。
- ラベルの空白部を右クリックし、コンテキストメニューから **「プロパティ」** を選択する。
- ラベルの空白部をダブルクリックする。

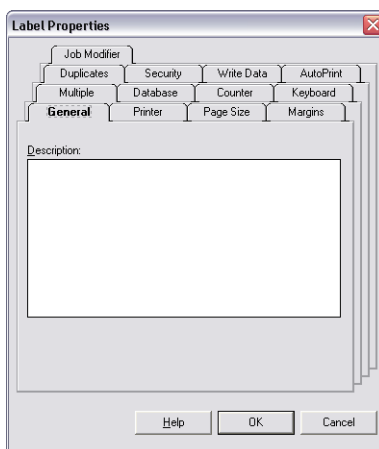


Figure 2-8 ラベルプロパティダイアログボックス



オンラインヘルプにより、各ラベルプロパティタブの詳しい説明を得ることができます。コンテキストに応じたヘルプ機能を利用したい場合、**「ラベルプロパティ」** ダイアログボックスの最下部にある **「ヘルプ」** ボタンをクリックしてください。

ページサイズの変更 アクティブなラベルデザイン用にページサイズのプロパティを設定、または編集することができます。

▶ **現在アクティブなラベル用のページサイズプロパティを設定または編集**

- 1 [ファイル] メニュー上の [ラベルプロパティ] をクリックしてください。[ラベルプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。
- 2 [ページサイズ] タブをクリックしてください。

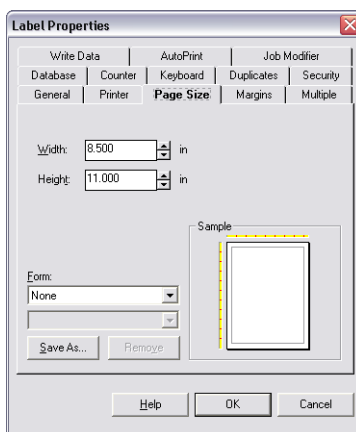


Figure 2-9 ページサイズタブ

- 3 必要があれば、ページプロパティを編集し、変更箇所がプリンタのメディア（紙またはラベル）と一致しているか確認してください。

Note

感熱式プリンタにおいては、幅と高さはラベルの寸法を意味しますが、Windows プリンタにおいては、それらはページの寸法を意味します。

- 4 [OK] をクリックしてデザインウィンドウに戻ってください。

マージンの変更

アクティブなラベルデザイン用にマージンプロパティを編集することができます。

▶ 現在アクティブなラベル用にマージンを変更する場合

- 1 [ファイル] メニュー上の [ラベルプロパティ] をクリックしてください。[ラベルプロパティ] が表示されます。
- 2 [マージン] タブをクリックしてください。

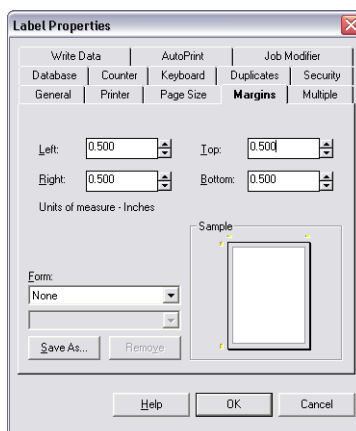


Figure 2-10 マージンタブ

- 3 必要があれば、マージンを編集し、変更箇所がプリンタのメディア（紙またはラベル）と一致しているか確認してください。

Note

通常、感熱式プリンタの場合、すべてのマージンは0に設定されています。

- 4 [OK] をクリックしてデザインウィンドウに戻ってください。

ページごとに**複数ラベルを設定** 縦と横のラベル形式を設定して複数ラベルを印刷することができます。

Note

通常、感熱式プリンタは1ページにつきラベルを1枚だけ印刷します。

▶ ページごとに複数ラベルを印刷する場合に縦と横のラベル数を設定する方法

- 1 [ファイル] メニュー上の [ラベルプロパティ] をクリックしてください。[ラベルプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。
- 2 [マルチ] タブをクリックしてください。

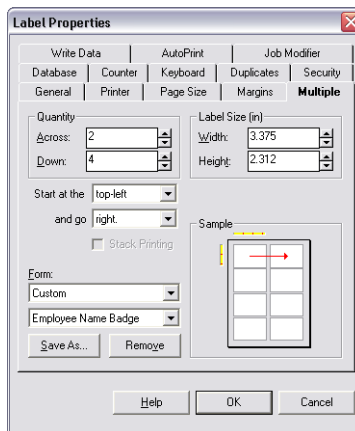


Figure 2-11 マルチタブ

- 3 印刷するページ上の縦と横のラベル数を設定してください。変更箇所がプリンタのメディア（紙またはラベル）と一致しているか確認してください。
- 4 必要であれば、ラベル印刷が始まる位置（「**開始位置**」設定）およびラベルが印刷される方向（「**方向**」設定）を変更することができます。
- 5 [OK] をクリックしてデザインウィンドウに戻ってください。

ラベルコピー数の指定 ラベル設定時に印刷するラベルのコピー数を指定することができます。

▶ **印刷するラベルのコピー数を指定**

- 1 [ファイル] メニュー上の [ラベルプロパティ] をクリックしてください。[ラベルプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。
- 2 [コピー] タブをクリックする。

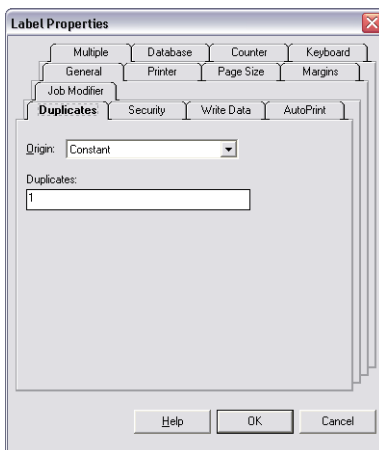


Figure 2-12 コピータブ

- 3 「オリジン」フィールドにおいて、以下のオリジンを1つ選択し、印刷するラベルのコピー数を決めてください。
 - **定数** : [コピー] タブにコピー数を入力すると、その後の印刷ジョブすべてにその数値が適用されます。デフォルトは1で、ラベルが1枚だけ印刷される設定になっています。
 - **データベース** : コピー数は、データベースのフィールドによって決定されます。
 - **キーボード入力** : 印刷時にコピー数を入力するようにとオペレータが指示されます。

- **コンビネーション**：コピー数は、キーボード入力、カウンターあるいはデータベースの変数に適用される数学、文字列、論理関数を利用して書き込まれる数式などの結果として決定されます。（注：このオリジンができない製品エディションもあります。）
- **コピー**：既存変数またはイメージをコピーし、そのデータオリジンを利用してコピー数を決定します。



コピーの数値（印刷する同一ラベルの数）は、オリジナルも含まれます。たとえば、オリジナル 1 枚およびコピーを 1 枚印刷する場合、コピーの数値を 2 に設定してください。

- 4 [OK] をクリックしてデザインウィンドウに戻ってください。

選択プリンタの変更

新規ラベル作成用ウィザードを使用してプリンタを指定した後、プリンタを変更したい場合、[ラベルプロパティプリンタ] タブを使って新規プリンタを用意に指定することができます。

▶ 現在アクティブなラベルを印刷するプリンタを指定する方法

- 1 [ファイル] メニュー上の [ラベルプロパティ] をクリックしてください。[ラベルプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。
- 2 [プリンタ] タブをクリックしてください。

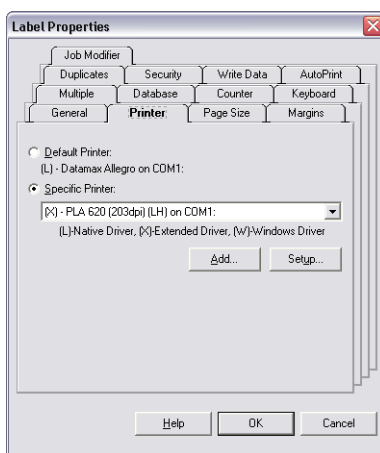


Figure 2-13 プリンタタブ

- 3 デフォルトプリンタを変更せず、このラベルデザイン印刷用に異なるプリンタを選択する場合、[プリンタを指定] オプションをクリックして、ドロップダウンリストからプリンタを新しく選択してください。



ある特定のプリンタを指定してラベルを保存すると、設定をデフォルトプリンタに戻してラベルを保存するまでそのラベルはこのプリンタを使用し続けることになります。

- 4 [OK] をクリックしてデザインウィンドウに戻ってください。

ラベルの付記

ラベルの説明を入力することにより、特定情報を各ラベルに関連付けることができます。選択しなければならない同様なラベルが数多くある場合、そのような説明は役に立ちます。

▶ 現在アクティブなラベルに説明を与える方法

- 1 [ファイル] メニュー上の [ラベルプロパティ] をクリックしてください。[ラベルプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。
- 2 [一般] タブをクリックしてください。

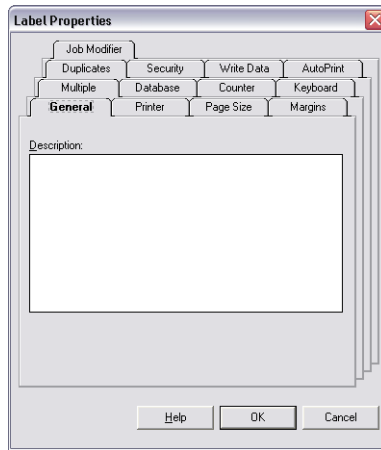


Figure 2-14 一般タブ

- 3 [説明] ボックスでラベルに関連付けたいデータを入力する。
- 4 [OK] をクリックしてデザインウィンドウに戻る。
- 5 ラベルを保存して閉じた後、また開いたときにその説明を [開く] ダイアログボックスで見ることができます。

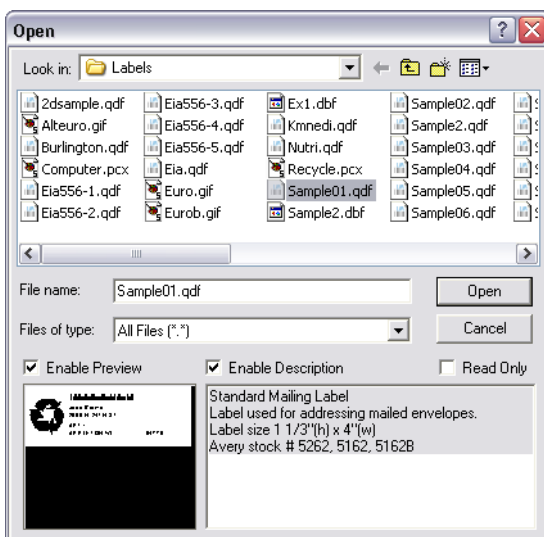


Figure 2-15 ラベルの説明表示

Note

ラベルの説明は、「ラベルの説明を有効にする」チェックボックスが選択されていないと表示されません。

ラベル作成ファイルの保存

- 1 [ファイル] メニュー上の [保存する] をクリックしてください。
または、スタンダードツールバーにある [保存する] をクリックすることもできます。
- 2 [名前を付けて保存] ダイアログボックスで、ファイルを保存するフォルダを指定してください。
- 3 ラベルデザインのファイル名を入力後、[保存する] をクリックしてください。

Note

プログラムの以前のバージョン（後方互換性有）が読み取れるフォーマットでラベルを保存するには、「名前を付けて保存する」ダイアログボックスにある「種類として保存する」ドロップダウンリストから適切なファイルのバージョンを選択してください。

ラベル背景としてラベルフォーマットを保存

単一ラベルレイアウト（[マルチ] タブでラベルの縦と横の寸法が1に設定されたレイアウト）の場合、ラベル背景としてラベルを保存することも可能です。ラベル背景は、ラベル作成のプロセスを簡単にするために利用できる「ベース層」のアウトラインとして機能します。デザインウィンドウで表示されたラベル背景は、デザインのみを目的とし、印刷されません。



本ラベル作成ソフトウェアのエディションの中には、ラベル背景としてラベルフォーマットを保存する機能を持たないものもあります。

ラベル背景は、ちょうど新規ラベルをデザインするように作成されます。唯一の相違は、スタンダードラベル作成ファイルとして保存するかわりに、指定したフォルダにラベル背景ファイル（エンハンスドメタファイル形式ファイル）として保存することです。

Note

すべてのラベル背景ファイルを保存するフォルダを変更するには、本ラベル作成ソフトウェアで [ツール] メニュー、そして [設定]、次に [ディレクトリ] タブをクリックし、[ラベル背景ファイルのロケーション] 設定で、所望のフォルダを指定してください。

▶ ラベル背景としてラベルフォーマットを保存（単一ラベルレイアウトのみ）

- 1 ベースラベルデザインが終了したら、[ファイル] メニュー上の [名前を付けて保存する] をクリックしてください。
- 2 [フォルダに保存する] リストで、本プログラムの「ラベル背景」フォルダ（あるいは、[ツール] メニュー > [設定] > [ディレクトリ] タブにあるラベル背景ロケーションフォルダとして指定されたフォルダ）を指定してください。
- 3 [種類として保存する] ドロップダウンリストで、スクロールダウンして [ラベル背景] (*.emf) を選択してください。

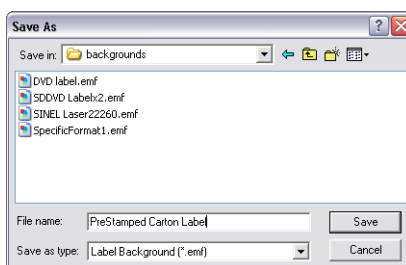


Figure 2-16 ラベル背景として保存

- 4 ファイル名を入力して「保存する」をクリックしてください。

一度保存すると、[フォーム] ドロップダウンリストから [ラベル背景] を選択して所望のラベル背景を選択することにより、ラベルプロパティ [ページサイズ]、[マージン] または [マルチ] タブからラベル背景テンプレートをアクセスすることができます。

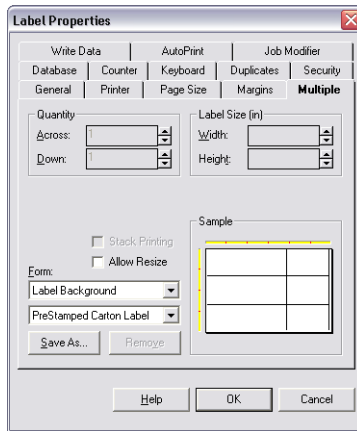


Figure 2-17 ラベル背景の選択

ラベルの作成



データオリジンの選択

データオリジンとは？ テキスト、パラグラフ、バーコード、あるいは2次元バーコードイメージをラベルに挿入するとき、そのイメージ用のデータオリジンを選択する必要があります。データオリジンはイメージを追加するためにデータソースを確認します。データソースには不変（印刷される各ラベルに共通した不変データ）と可変（印刷されるラベルごとに異なる可変データ）のものがあります。

データオリジンはイメージの [データ] タブから選択します。

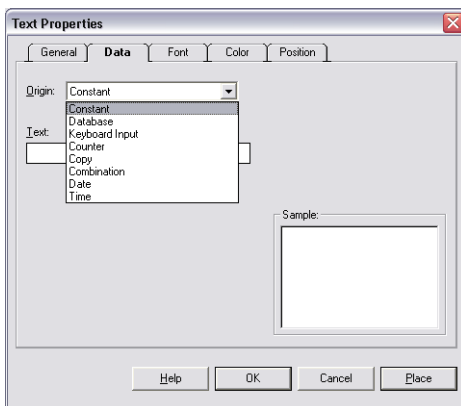


Figure 3-1 データオリジン

データオリジンの種類 下記の表は選択できるデータオリジンの説明です。

データオリジン	説明
定数	イメージが作成されるときに「データ」タブで入力され、ラベルごとに変化しない情報です。 定数はデフォルトのデータオリジンです。
データベース	値はデータベースから取得するので、ラベルによって異なります（可変データ）。 データベースのレコードはシーケンシャルに（レコードをすべて順番に印刷）、あるいは選択する「キー」フィールドを使ってアクセスすることができます。（注：キーフィールドを使ってアクセスする方法が適用できないソフトウェアのエディションもあります。）
キーボード入力	オペレータは、印刷時に情報を入力するよう指示を与えられるので、各ラベルに異なる情報を入力することができます（可変データ）。 「ピックリスト」にキーボード入力する場合、値は印刷時に所定のドロップダウンリストから選択します。許容されていない入力値ではない正確なデータの入力を行うことができるようにするため、入力はリストされている値だけに限られています。
カウンタ	開始値、および、各ラベルごとに指定された量だけ変化する情報の増加分（カウント上昇）または減少分（カウント下降）を指定します。
コピー	情報が、ラベル上にあるもう 1 つの可変イメージからコピーされます。
結合	ラベル上の 2 つ以上あるイメージから得るデータを結合、あるいは数学、論理、または文字列機能を使用してそのような可変イメージからデータを作成することにより、情報を取得します。（注：このオリジンが適用できないソフトウェアのエディションもあります。）
日付	値は現在の日付（システム時計に基づいています）で、選択する日付形式に基づいてフォーマットされています。このソフトウェアのエディションによっては、日付をオフセットして、必要であれば過去あるいは将来の日付を印刷することができるものもあります（例：MM/DD+7/YY にすると、現在の日付が 7 日加算されます）。

データオリジン	説明
時刻	値は現在の時刻（システム時計に基づいています）で、選択する時刻形式に基づいてフォーマットされています。このソフトウェアのエディションによっては、時刻をオフセットして、必要であれば過去あるいは将来の時刻を印刷することができるものもあります（例：HH:MM+10 AA\$ にすると、現在の時刻が 10 分加算されます）。

フォントの選択

テキスト、パラグラフ、バーコード、あるいは 2 次元バーコードイメージをラベルに挿入する場合、常駐あるいは非常駐のプリンタフォントを選択することができます。

- **常駐フォント**は、プリンタシステムのメモリに内蔵されているフォントです。これは、感熱式プリンタ印刷用として推奨されるフォントの種類です。
- **非常駐フォント**は、あなたのパソコンに内蔵されているフォントです。非常駐フォントはグラフィックとしてプリンタに送られます。グラフィックはメモリがさらに必要なので、常駐フォントよりも印刷時間が長いです。
- **トゥルータイプフォント**は、パソコンに内蔵されているフォントで、通常、この種のフォントには選択可能な様々なフォントがあります。通常、トゥルータイプフォントは感熱式プリンタに常駐していません。

フォントはイメージの [フォント] タブから選択することができます。

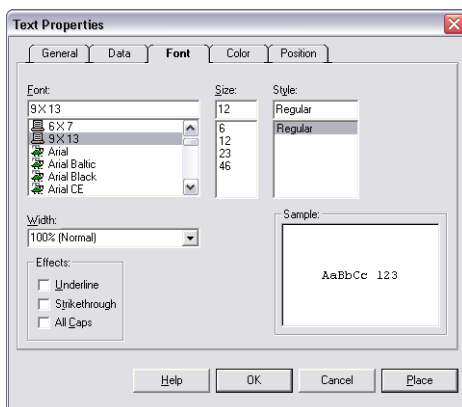


Figure 3-2 フォントタブ

[フォント] タブのフォントを選択するとき、リストにある各フォントの左側にあるアイコンに注意を払ってください。

-  感熱プリンタに常駐のフォント（ツールタイプフォントではありません）を表示します。
-  プリンタに常駐していないツールタイプフォントを表示します（グラフィックとしてプリンタに送られます）。
-  プリンタに常駐のツールタイプフォントを表示します。

イメージ追加用ウィザードの使用

イメージ追加用ウィザードを使ってあらゆる種類のイメージをラベルに追加することができます。イメージ追加用ウィザードを利用すると、段階的にイメージの追加、プロパティの設定、そしてラベルへの貼り付けをすることができます。

- ▶ イメージ追加用ウィザードにアクセスするには、以下から 1 つ選んで実行してください。
 - イメージ追加用ツールバーの上にある [イメージ追加用ウィザード] をクリックしてください。
 - [挿入] メニューにある [イメージウィザード] をクリックしてください。
 - キーボード上の「挿入」キーを押してください。



Figure 3-3 イメージ追加ウィザード



使用のソフトウェアエディションにより、利用できる機能が異なります。このマニュアルにはすべての機能が説明されていますが、使用のソフトウェアエディションには利用できないものもあります。

ラベルへのイメージの追加

テキストの追加

- 1 以下の1つを選択して実行してください。
 - ・ [挿入] メニューで [テキスト] をクリックする。
 - ・ イメージ追加用ツールバーで [テキストの追加] をクリックする

[テキストプロパティ] ダイアログボックスが現われます。

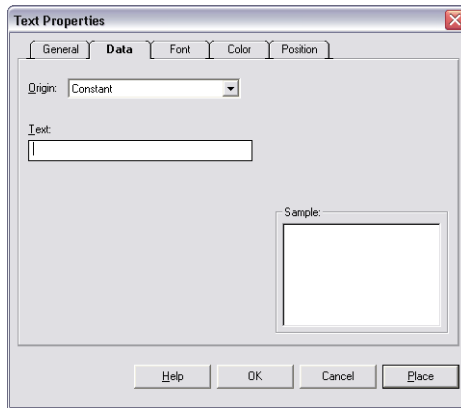


Figure 3-4 テキストプロパティ

- 2 [オリジン] ドロップダウンリストから、あなたのテキストに適切なデータを選択してください。選択するオリジンにより、[データ] タブに表示されるプロパティが異なります。
- 3 選択したデータオリジンに必要なテキストイメージを設定してください。各データオリジンに関する詳細な情報が必要な場合、プログラムのオンライン「ヘルプ」を利用ください。
- 4 [フォント] タブをクリックしてテキストに使用するフォントのオプションを選択してください。
- 5 必要であれば、[テキストプロパティ] タブを使用し、色や位置などテキストの他の設定を行ってください。
- 6 [OK] をクリックし、[位置] タブの設定に基づいてラベル上にテキストを表示してください。あるいは、マウスを使って [貼り付け] をクリックし、ラベル上にテキストを貼り付けてください。

パラグラフの追加

- 1 以下の 1 つを選択して実行してください。
 - [挿入] メニューの [パラグラフ] をクリックしてください。
 - イメージ追加用ツールバーの [パラグラフの追加] をクリックしてください。
- [パラグラフプロパティ] ダイアログボックスが現われます。

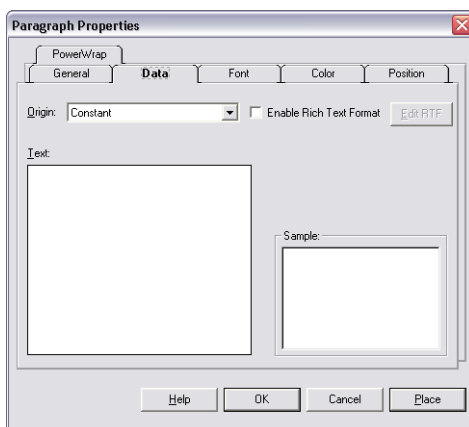


Figure 3-5 パラグラフプロパティ

- 2 **［オリジン］** ドロップダウンリストから、あなたのパラグラフに適切なデータオリジンを選択してください。選択するオリジンにより、**［データ］** タブに表示されるプロパティが異なります。
- 3 選択したデータオリジンに必要なパラグラフイメージを設定してください。各データオリジンに関する詳細な情報が必要な場合、プログラムのオンライン「ヘルプ」を利用ください。
- 4 **［フォント］** タブをクリックしてパラグラフに使用するフォントのオプションを選択してください。
- 5 必要であれば、**［パラグラフプロパティ］** タブを使用し、「テキストの折り返し」や「サイズ調整」などパラグラフの他の設定を行ってください。
- 6 **［OK］** をクリックし、**［位置］** タブの設定に基づいてラベル上にパラグラフを表示してください。あるいは、マウスを使って**［貼り付け］** をクリックし、ラベル上にテキストを貼り付けてください。

バーコードの追加

- 1 以下の 1 つを選択して実行してください。
 - **［挿入］** メニューの **［バーコード］** をクリックしてください。
 - イメージ追加用ツールバーの **［バーコードの追加］** をクリックしてください。

[バーコードプロパティ] ダイアログボックスが現われます。

- 2 [オリジン] ドロップダウンリストから、あなたのバーコードに適切なデータオリジンを選択してください。選択するオリジンにより、[データ] タブに表示されるプロパティが異なります。
- 3 選択したデータオリジンに必要なバーコードイメージを設定してください。各データオリジンに関する詳細な情報が必要な場合、プログラムのオンライン「ヘルプ」を利用ください。
- 4 [バーコード] タブをクリックし、[種類] ドロップダウンリストからバーコードの種類を選択してください。選択するバーコードの種類により、このタブに表示される設定が異なります。

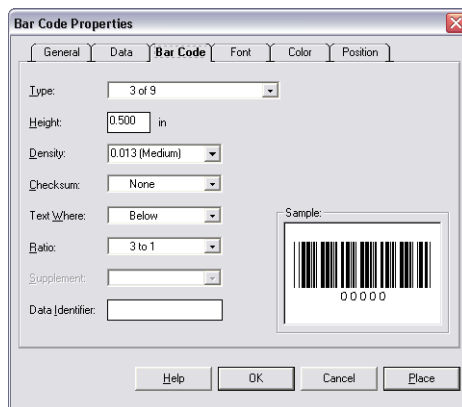


Figure 3-6 バーコードタブ

- 5 必要であれば、[バーコードプロパティ] タブを使用し、色、位置、あるいは人間が読めるテキストのフォントオプションなどバーコードの他の設定を行ってください。
- 6 [OK] をクリックし、[位置] タブの設定に基づいてラベル上にバーコードを表示してください。あるいは、マウスを使って [貼り付け] をクリックし、ラベル上にテキストを貼り付けてください。

2 次元バーコードの追加 以下の 1 つを選択して実行してください。

- **「挿入」** メニューの **「2 次元バーコード」** をクリックしてください。
- イメージ追加用ツールバーの **「2 次元バーコードの追加」** をクリックしてください。

「2 次元バーコードプロパティ」 ダイアログボックスが現われます。

- 「オリジン」** ドロップダウンリストから、あなたの 2 次元バーコードに適切なデータオリジンを選択してください。選択するオリジンにより、**「データ」** タブに表示されるプロパティが異なります。
- 選択したデータオリジンに必要な 2 次元バーコードイメージを設定してください。各データオリジンに関する詳細な情報が必要な場合、プログラムのオンライン「ヘルプ」を利用ください。
- 「2 次元バーコード」** タブをクリックし、**「種類」** ドロップダウンリストからバーコードの種類を選択してください。選択するバーコードの種類により、このタブに表示される設定が異なります。

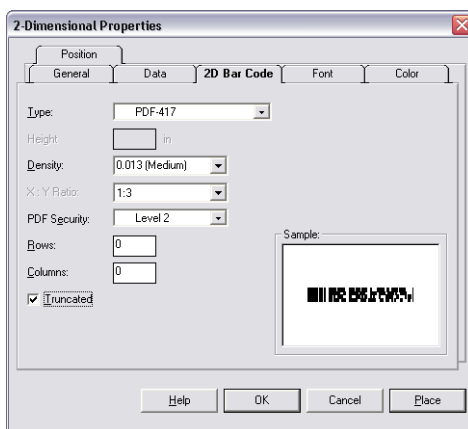


Figure 3-7 2 次元バーコード

- 必要であれば、**「2 次元プロパティ」** タブを使用し、色や位置など 2 次元バーコードの他の設定を行ってください。

- 6 [OK] をクリックし、[位置] タブの設定に基づいてラベル上に 2 次元バーコードを表示してください。あるいは、マウスを使って [貼り付け] をクリックし、ラベル上にテキストを貼り付けてください。

ピクチャの追加

- 1 以下の 1 つを選択して実行してください。
 - [挿入] メニューの [ピクチャ] をクリックしてください。
 - イメージ追加用ツールバーの [ピクチャ追加] をクリックしてください。

[ピクチャプロパティ] ダイアログボックスが現われます。

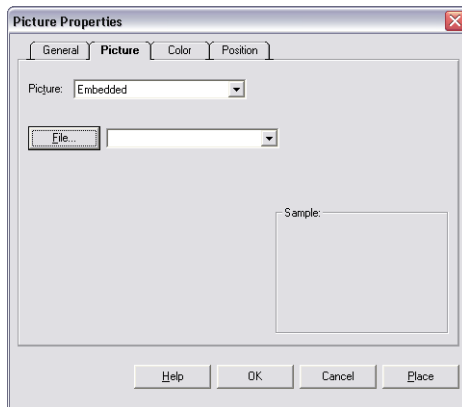


Figure 3-8 ピクチャプロパティ

- 2 [ピクチャ] ドロップダウンリストから、ピクチャにアクセスするための以下の方法から 1 つ選択してください。
 - **埋め込み型**：ラベルデザインの一部としてピクチャを保存します。この方法は、ラベルデザインを保存するのにより多くのファイルスペースを要しますが、オリジナルのグラフィックファイルがいずれ変更する可能性がある場合、役に立ちます。
 - **リンクファイル**：選択されたピクチャファイル名への参照を保存します。ラベルデザインとして実際のピクチャを保存することはしないので、ラベルデザインを保存するスペースが限られている場合に適した方法です。
 - **データベース**：これを利用して、選択されたピクチャのディ

レクタリバスとファイル名を定めるデータベースのフィールドを指定することができます。(注：ソフトウェアエディションによっては、この方法が利用できないものもあります。)

- キーボードプロンプト：これを利用して印刷時に、選択されたピクチャのディレクトリバスとファイル名を指定することができます。(注：ソフトウェアエディションによっては、この方法が利用できないものもあります。)

選択するオリジンにより、[ピクチャ] タブに現われるプロパティが異なります。

- 3 [埋め込み型] あるいは [リンクファイル] 方式を使ってピクチャにアクセスしている場合、[ファイル] ボタンをクリックし、グラフィックファイルを探して見つけ、ラベルデザインに追加してください。
- 4 必要であれば、[ピクチャプロパティ] タブを使用し、色や位置などピクチャの他の設定を行ってください。
- 5 [OK] をクリックし、[位置] タブの設定に基づいてラベル上にピクチャを表示してください。あるいは、マウスを使って [貼り付け] をクリックし、ラベル上にピクチャを貼り付けてください。

線や形状の追加

- 1 以下の 1 つを選択して実行してください。
 - [挿入] メニューの [シャイプ] をクリックしたあと、[線]、[長方形]、[楕円形]、[ダイヤモンド] あるいは [八角形] をクリックしてください。
 - イメージ追加用ツールバーの [形状の追加] をクリックしたあと、形状を選択してください。

選択した形状のプロパティダイアログボックスが現われます。

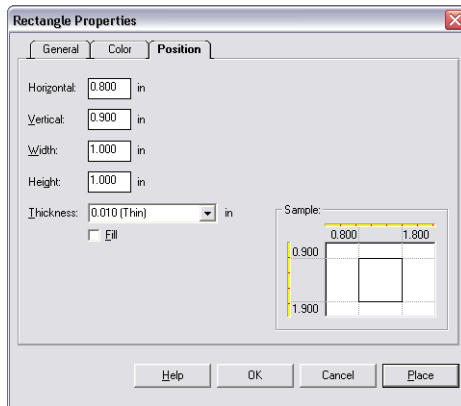


Figure 3-9 長方形プロパティ

- 2 **〔位置〕** タブをクリックして、形状の境界線の**〔厚さ〕** 設定（**〔細〕**、**〔中〕**、あるいは**〔太〕**）を選択、あるいは自分が決めた値を入力し、異なる設定を使用してください。
- 3 形状を色で塗りつぶしたい場合、**〔塗りつぶし〕** チェックボックスをクリックしてください。
- 4 **〔カラー〕** タブをクリックし、形状境界線の**〔前景色〕**、あるいは形状を塗りつぶす色の**〔後景色〕**を選択してください。
- 5 **〔OK〕** をクリックし、**〔位置〕** タブの設定に基づいてラベル上に形状を表示してください。あるいは、マウスを使って**〔貼り付け〕** をクリックし、ラベル上に形状を貼り付けてください。

カスタム形状の追加

- 1 以下の 1 つを選択して実行してください。
 - **〔挿入〕** メニューの**〔形状〕** をクリックしたあと、**〔カスタム形状〕** をクリックしてください。
 - イメージ追加用ツールバーの**〔形状の追加〕** をクリックしたあと、**〔カスタム形状〕** をクリックしてください。
- 〔カスタム形状プロパティ〕** が現われます。

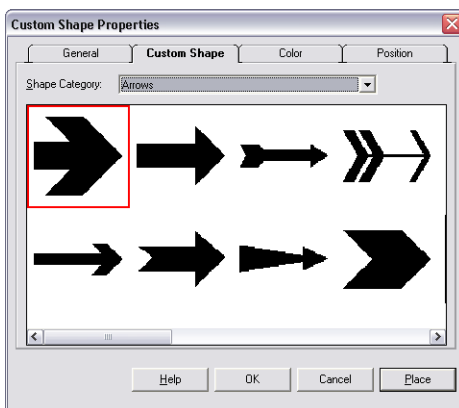


Figure 3-10 カスタム形状プロパティ

- 2 **〔カスタム形状〕** タブで **〔形状カテゴリ〕** ドロップダウンリストをクリックし、所望の形状を含むカテゴリを選択してください。たとえば、消火器のアイコンを探している場合、「消火器」カテゴリを選択してください。選択したカテゴリの利用可能な形状がすべて表示されます。
- 3 表示された形状をスクロールして所望の形状をクリックしてください。
- 4 必要であれば、**〔カスタム形状プロパティ〕** タブを使い、色や位置などカスタム形状の他の設定も行ってください。
- 5 **〔OK〕** をクリックし、**〔位置〕** タブの設定に基づいてラベル上にカスタム形状を表示してください。あるいは、マウスを使って **〔貼り付け〕** をクリックし、ラベル上にカスタム形状を貼り付けてください。



スナップ値グリッド設定を一時的に上書きしてイメージを正確に配置するには、CTRL キーを押しながらイメージをラベル上の所望の位置にドラッグしてください。

絵文字イメージの追加 1 以下の 1 つを選択して実行してください。

- **〔挿入〕** メニューの **〔絵文字〕** をクリックしてください。
- **〔イメージ追加用ツールバー〕** 上の **〔絵文字の追加〕** をクリックしてください。

〔絵文字プロパティ〕 ダイアログボックスが現われます

- 2 **〔オリジン〕** ドロップリストから、あなたの絵文字イメージに適したデータオリジンを選択してください。選択したオリジンにより、**〔データ〕** タブに表示されるプロパティが異なります。
- 3 選択したオリジンに必要な絵文字イメージのデータを設定してください。各データオリジンに関する詳細な情報が必要な場合、プログラムのオンライン「ヘルプ」を利用ください。
- 4 **〔フォント〕** タブをクリックし、絵文字イメージのフォントオプションを選択してください。絵文字イメージは、トゥルータイプフォントを使用してのみ作成することができます。

Note

感熱式あるいは熱転写プリンタを使用の場合、ほとんどの感熱式プリンタではトゥルータイプフォントはグラフィックとしてプリンタに送られるので、絵文字イメージを含んでいるラベルの印刷速度は通常より大きく遅くなるかもしれないことに留意ください。

5 「絵文字」タブをクリックしてください。

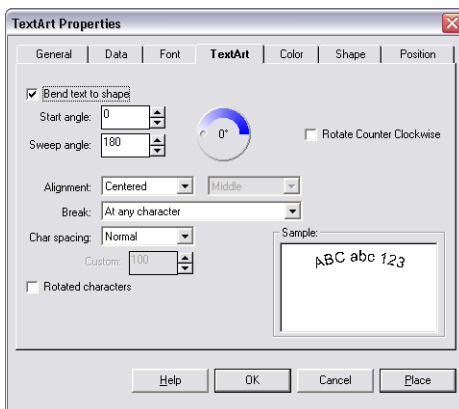


Figure 3-11 絵文字プロパティ絵文字タブ

6 以下の絵文字プロパティを設定してください。

形状に合わせたテキストの調整：このボックスにチェックがあると、テキストは、「形状」タブで選択した形状（楕円形、角丸長方形など）の境界線に合わせて調整されます。（デフォルトの形状は楕円形です。）



テキストを 1 行、完全な円形に表示する絵文字イメージを作るには、「形状」タブの「楕円形」形状を選択し、「スタート角度」を 0、そして「広がり角度」を 360 にして入力してください。

スタート角度：360 度の角度に基づき絵文字テキストの開始位置を設定することができます。（デフォルトのスタート角度は 0 です。）

広がり角度：テキストが表示される広がり角度を設定することができます。（デフォルトの広がり角度は **180** です。）

反時計方向の回転：形状境界線の後を追って、文字列の文字すべてが反時計方向に回転します。



下向きの弓状に左から右へ読むテキストを **1** 行表示する絵文字イメージを作成するには、[形状] タブの [楕円形] を選択し、[スタート角度] に **180**、[広がり角度] にも **180** を入力したあと、[反時計方向に回転] チェックボックスをクリックしてください。

配置：所定のスペースにある絵文字の縦と横の配置を設定するために利用します。

区切り：テキストの区切り位置、およびテキストが形状に適合する位置を設定するために利用します。

文字間スペース：文字間のスペースを設定するために利用します。「カスタム」オプションを選択し、**20** から **200** までの段階に基づいたカスタム文字間スペースを設定することができます。初期設定（**100**）は標準的なスペースに対応しています。カスタマイズの際、スペースは選択された数字に比例した大きさになります。たとえば、入力値を **200** にするとスペースはおおよそ **1** 文字分になり、**20** にすると、文字が重なります。

文字の回転：各文字を反時計方向に **90** 度回転させます。

- 7 絵文字イメージのテキストに色をつけたい場合は、[カラー] タブをクリックして [塗りつぶし]、[輪郭]、[影] のカラー設定にアクセスしてください。

- 8 絵文字イメージの背景に形状を表示したい場合、**「形状」** タブをクリックして所望の形状を選択してください。形状には、「楕円形」、「線」、「多角形」、「ポリライン」、「長方形」、「角丸長方形」があります。

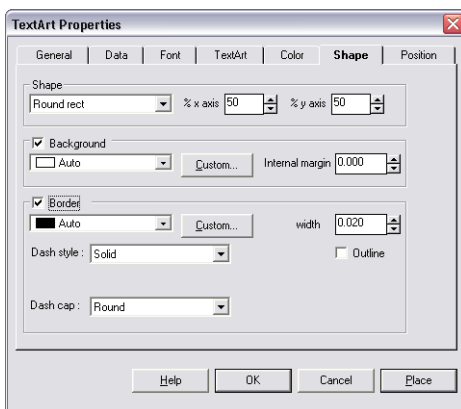


Figure 3-12 絵文字プロパティ形状タブ

- 9 以下の形状プロパティを設定してください。

形状：オブジェクトの背景として使う形状の種類を選択してください。**「絵文字」** タブで **「形状に合わせたテキストの調整」** オプションを選択すると、ここで選択した形状はテキストが合わせる形状も決定します。

X 軸と Y 軸のパーセンテージ：角丸長方形を選択した場合、角の丸さを設定するために利用します。

背景：**「背景」** チェックボックスをクリックし、オブジェクトの背景として選択した形状を使ってください。

カラー：ドロップダウンリストをクリックして、選択した形状背景の色を選択してください。カスタムボタンによって、非標準的な色を選択したり、カスタムカラーを設定することができます。

Note

[ツール] メニューから [設定]、次に [設定表示] タブ、最後に [定規のマーキング] 設定をクリックして測定単位（インチあるいはセンチ）を変更することができます。[定規のマーキング] で設定される単位がプログラムで使われるすべての測定単位に適用されます。

内部マージン：オブジェクトの端（オブジェクトのハンドルが表示される部分）と背景にある形状の間に位置するマージンを設定するために利用します。

境界線：[境界線] チェックボックスをクリックし、選択した背景形状の周りに境界線を挿入してください。内部マージンが形状を囲んでいる場合、境界線はマージンの外側に現われます。

カラー：ドロップダウンリストをクリックし、境界線の色を選択してください。「カスタム」ボタンを使って、非標準的な色を選択したり、カスタムカラーを設定することができます。

ダッシュスタイル：境界線用として使うダッシュのスタイルを設定するために利用します。

ダッシュキャップ：ダッシュスタイルを使用する場合にダッシュの外観を設定するために利用します。

幅：連続あるいは破線のアウトラインの幅を設定するために利用します。

アウトライン：設定した境界線のアウトラインだけを表示することができます。

- 10 [OK]** をクリックし、[位置] タブの設定に基づいてラベル上に絵文字イメージを表示してください。あるいは、マウスを使って [貼り付け] をクリックし、ラベル上にイメージを貼り付けてください。

リッチテキストフィールドイメージの追加 1 以下の 1 つを選択して実行してください。

- **〔挿入〕** メニューの **〔リッチテキストフィールド〕** をクリックしてください。
- イメージ追加用ツールバーの **〔リッチテキストフィールドの追加〕** をクリックしてください。

〔リッチテキストフィールドプロパティ〕 ダイアログボックスが現われます。

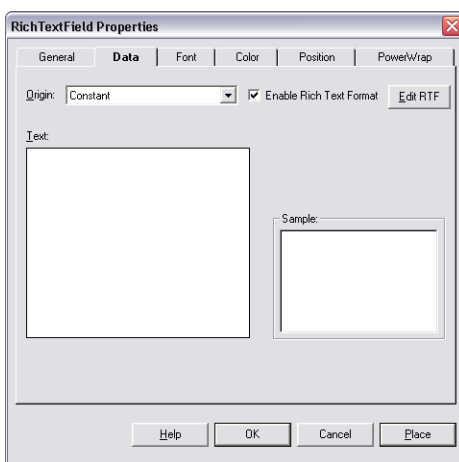


Figure 3-13 リッチテキストフィールドプロパティデータタブ

- 2 **〔オリジン〕** ドロップダウンリストから所望のデータオリジン（利用できるオリジンは、リッチテキストフィールドイメージの「定数」、「データベース」、あるいは「結合」に限られています）を選択してください。選択するオリジンにより、**〔データ〕** タブに表示されるプロパティが異なります。
- 3 選択したオリジンに必要なリッチテキストフィールドイメージデータを設定してください。各データオリジンに関する詳細な情報が必要な場合、プログラムのオンライン「ヘルプ」を利用ください。

Note

使用のプリンタの機種により、リッチテキストフィールドイメージがグラフィックとしてプリンタに送られることがあり、イメージがグラフィックとして印刷されるとき、印刷速度が大きく遅くなります。

- 4 RTF Editor にテキストを追加あるいは編集し、**[RTF 編集]** ボタンをクリックしてください。

RTF Editor が現われます。

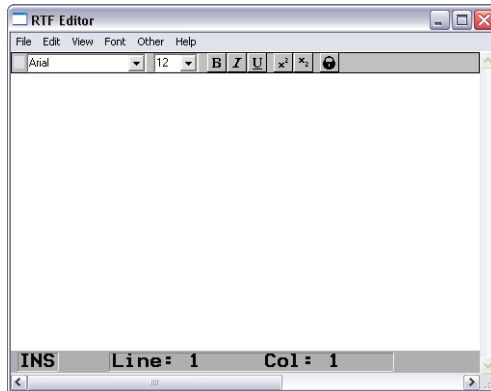


Figure 3-14 RTF Editor

Note

[データ] タブを通して RTF Editor を利用する場合、選択したリッチテキストフィールドイメージしか編集することができません。他の RTF ファイルを作成、オープン、保存するには、[ツール] メニューから **[RTF Editor]** を選択して RTF Editor を利用してください。

- 5 RTF Editor で、RTF Editor の **[フォント]** メニューにあるオプションを使い、所望のテキストを入力してフォーマットしてください。
- 6 終了したら、RTF Editor の **[ファイル]** メニューから **[終了]** を選択し、テキストを保存するかしないか質問されたら **[する]** をクリックしてください。
- 7 再び **[データ]** タブに戻り、フォーマットされた RTF テキストが **[サンプル]** ボックスに現われ、隠れた RTF コードを持つソーステキストが **[テキスト]** ボックスに現われます。
- 8 **[OK]** をクリックし、**[位置]** タブの設定に基づいてラベル上にリッチテキストフィールドイメージを表示してください。あるいは、マウスを使って **[貼り付け]** をクリックし、ラベル上にイメージを貼り付けてください。

配置されたイメージの操作方法

イメージハンドル

イメージをクリックして選択すると、イメージ境界線の周囲にイメージ「ハンドル」が現われます。このイメージハンドルは、イメージが選択されたことを示し、イメージのサイズ変更が容易にできるようになります。

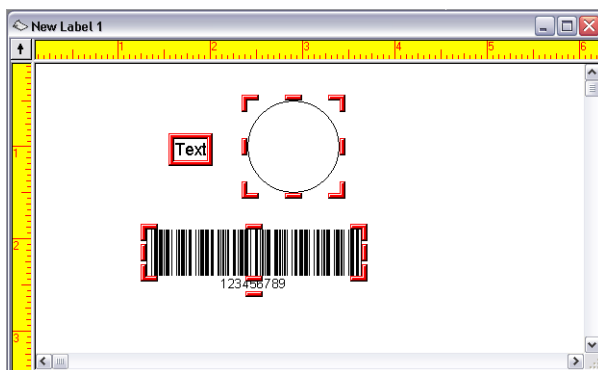


Figure 3-15 イメージハンドル

スナップ値の変更

イメージをラベルに配置する場合、[設定表示] タブで設定した [スナップ値] に基づき、イメージが自動的にスナップして配置されます。イメージを移動させるとき、いつもこの値の増分だけイメージが移動することになります。たとえば、スナップ値を **0.25** インチにすると、イメージを一度に 4 分の 1 インチだけ動かすことができます。

▶ スナップ値の変更

- 1 [ツール] メニューで [設定] をクリックしたあと、[設定表示] タブをクリックしてください。
- 2 [スナップ値] の設定を好きなように変更してください。たとえば、スナップ値を **0.10** から **0.01** に変えれば、もっと容易にイメージをラベル上の特定位置に配置することができます。
- 3 [OK] をクリックしてデザインウィンドウに戻ってください。

イメージの移動

- 1 選択したイメージの上にマウスポインターを置いてください。
- 2 左クリックしたあと、ドラッグしてイメージを所望の位置に移動させてください。

イメージの前後移動

- ▶ 選択したイメージを他のすべてのイメージの前に移動させる場合
- イメージを右クリックして「**前に移動**」を選択してください。
または、イメージを選択し、「**編集**」メニューから「**前に移動**」を選択することもできます。

前に移動したイメージは最後に印刷されます。

- ▶ 選択したイメージを他のすべてのイメージの後に移動させる場合
- イメージを右クリックして「**後に移動**」を選択してください。
または、イメージを選択し、「**編集**」メニューから「**後に移動**」を選択することもできます。

後に移動したイメージは最初に印刷されます。

イメージの回転

- 1 回転させたいイメージをクリックしてください。一度に1つ以上のイメージを選択する場合、SHIFT キーを押しながらイメージをクリックしてください。
- 2 「**編集**」メニューで「**回転**」をクリックしてください。または、イメージを右クリックして「**回転**」を選択することもできます。

「**回転**」ダイアログボックスが現われます。

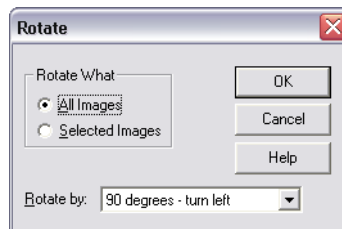


Figure 3-16 回転オプション

- 3 以下の回転オプションから 1 つ選択してください。
 - **全イメージ**：画面とプリントメディア上にあるラベルの向きを変更します。印刷されたラベルの向きが表示されます。たとえば、ラベルを逆さにして印刷する場合、イメージを 180 度に回転させます。
 - **選択イメージ**：このコマンドを使って、選択したイメージの向きを回転させます。印刷時のイメージが表示されます。このコマンドは、ラベルの向きに影響を与えません。
- 4 **〔回転方法〕** ドロップダウンメニューから回転設定を選んでください。
- 5 **〔OK〕** をクリックしてデザインウィンドウに戻ってください。

イメージのサイズ調整 1 高さとの比率を同一に保ちながら（イメージが歪まないようにするため）イメージのサイズを調整するには、イメージハンドルの 4 つある端のうち 1 つをクリックしてください（従って、カーソルは斜めにあります）。

- 2 ドラッグして所望のサイズに調整してください。

イメージの拡大縮小 **〔拡大縮小〕** コマンドを利用すると、指定した割合分だけ選択したイメージを拡大縮小することができます。たとえば、割合を 100 パーセントに指定すると、イメージの大きさは変わりません。一方、50 パーセントにするとイメージの大きさは半分になり、200 パーセントにするとイメージの大きさは倍になります。

▶ デザイン領域における選択イメージあるいは全イメージの拡大縮小

- 1 拡大縮小したいイメージをクリックしてください。一度に 1 つ以上のイメージを選択する場合、**SHIFT** キーを押しながら、イメージをクリックしてください。
- 2 **〔編集〕** メニューの **〔拡大縮小〕** をクリックしてください。または、イメージを右クリックして **〔拡大縮小〕** を選択することもできます。

〔拡大縮小〕 ダイアログボックスが現われます。

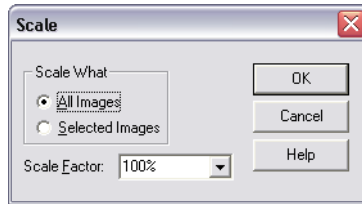


Figure 3-17 拡大縮小オプション

- 3 [全イメージ] あるいは [選択イメージ] を拡大縮小したいか指定してください。
- 4 [倍率] ドロップダウンリストから数値を選択するか、あるいは自分で決めた数値を入力して異なる倍率を使ってください。
- 5 [OK] をクリックしてデザインウィンドウに戻ってください。



本ラベル作成ソフトウェアで利用可能なすべてのラベル作成機能に関する詳しい情報が必要な場合、プログラムのオンライン「ヘルプ」を利用ください。[ヘルプ] メニューから [ヘルプトピック] を選択するか、F1 キーを押すことにより「ヘルプ」機能にアクセスすることができます。

索引

数値

2次元バーコード 3-8

A

イメージ追加用ツールバー 1-7

イメージ追加用ウィザード 3-4

プリンタ追加用ウィザード 2-2

追加方法

2次元バーコード 3-8

バーコード 3-7

カスタム形状 3-11

線 3-10

パラグラフ 3-6

ピクチャ 3-9

リッチテキストフィールド 3-17

形状 3-10

テキスト 3-5

絵文字 3-12

配置ツールバー 1-8

アプリケーションオプション 1-10

アプリケーションウィンドウ 1-4

B

バーコード 3-7

C

コンピネーションデータオリジン 3-2

コンスタントデータオリジン 3-2

ラベルのコピー 2-17

コピーデータオリジン 3-2

カウンタデータオリジン 3-2

新しいラベルの作成 1-2

カスタム形状 3-11

D

データオリジン 3-1

データベースアクセス

キー設定 3-2

シークエンシャル 3-2

データベースデータオリジン 3-2

日付データオリジン 3-2

デフォルトプリンタ 2-2

説明 2-19

デザインウィンドウ

色 1-11

設定 1-10

ドライバ 2-2

二重ラベル 2-17

E

エラー／警告ツールバー 1-9

拡張ドライバ 2-2

F

フォント 3-3

フォーム 2-10

G

グラフィック 3-9

グループ／グループ解除ボタン 1-9

I

イメージフォーマットツールバー 1-9

イメージハンドル 3-19

イメージ

追加 3-5

移動 3-20

前後移動 3-20

回転 3-20

拡大縮小 3-21

サイズ設定 3-21

インタフェース 1-4

K

キーボード入力データオリジン 3-2

L

ラベル背景 2-21
ラベル内容 2-19
ラベル作成ウィンドウ
色 1-11
設定 1-10
ラベル設定 2-6, 2-8, 2-10
ラベルテンプレート 2-10
ラベル
作成 1-2
開き方 1-3
保存 2-21
線 3-10

M

マージン 2-1, 2-15
メニューバー 1-4
メニュー 1-4
イメージの移動 3-20
ページごとの複数ラベル 2-16

N

ネイティブドライバ 2-2
新規ラベル作成用ウィザード 1-2, 2-6,
2-8, 2-10
非常駐フォント 3-3

O

ラベルの開き方 1-3

P

ページサイズ 2-14
パラグラフ 3-6
ピクリストデータ入力 3-2, 3-9
所定フォーム 2-10
プリンタドライバ 2-2
プリンタ設定 2-1, 2-18
プリンタ 2-6, 2-8, 2-18

R

常駐フォント 3-3
リッチテキストフィールド 3-17
イメージの回転 3-20
回転ボタン 1-10

RTFエディタ 3-18

S

カスタムフォームの保存 2-11
ラベルの保存 2-21
ラベル背景として保存 2-21
イメージの拡大縮小 3-21
形状 3-10
イメージのサイズ設定 3-21
スナップ値 3-19
特別プリンタ 2-18
プログラムの開始 1-1
ステータスバー 1-10
スタイルバー 1-5

T

テンプレート 2-10
テキスト 3-5
絵文字 3-12
感熱式プリンタ 2-6
時刻データオリジン 3-2
ツールバー 1-5
イメージ追加用ツールバー 1-7
配置ツールバー 1-8
エラー／警告ツールバー 1-9
イメージフォーマットツールバー 1-9
スタンダードツールバー 1-5
ステータスバー 1-10
トゥルータイプフォント 3-3
2次元バーコード 3-8

W

Windows プリンタ 2-8
ウィザード
イメージ追加用ウィザード 3-4
プリンタ追加用ウィザード 2-2
新規ラベル作成用ウィザード 1-2,
2-6, 2-8, 2-10



France
33-562-601-080

Germany
49-2103-2526-0

Singapore
65-6908-0960

United States
1-414-837-4800

Copyright 2015 Teklynx Newco SAS. All rights reserved. TEKLYNX and LABEL MATRIX are trademarks or registered trademarks of Teklynx Newco SAS or its affiliated companies. All other brands and product names are trademarks and/or copyrights of their respective owners.

www.teklynx.com

